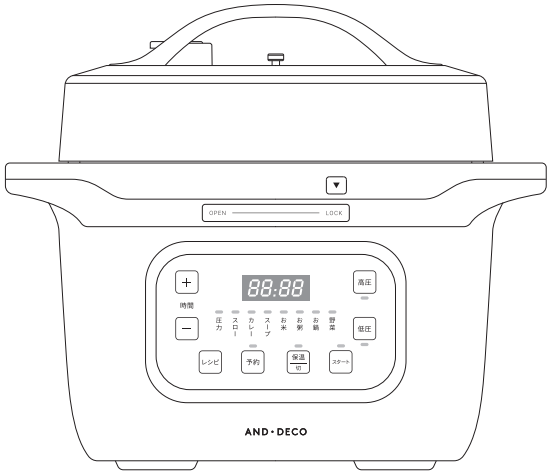
MODERN DECO

取扱説明書

電気圧力鍋 4.0L

品番：ylp01



目次

安全上のご注意 …… 2 , 3
使用上のご注意 …… 4 , 5
各部の名称 …… 5 , 6
各部の説明 …… 7 , 8
使用方法 …… 9 - 11
本製品でできること …… 12
各種調理の仕方 …… 13 - 18
やむを得ずふたを開けたい時 …… 18
お手入れ・保管方法 …… 19 - 20
故障かなと思ったら …… 21 - 22
製品仕様 …… 23
保証書 …… 24

このたびは弊社商品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を最後までお読みいただき、正しい使い方で末永くご愛用ください。
お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

十分な検査はしておりますが、万一不良などがございましたら
モダンデコカスタマーセンターまでご連絡ください。

ナビダイヤル 0570-039-777

安全上のご注意

天災などの不可避の災害、改造等本来の使用を逸脱した使用、お客様の不注意によって生じた故障や事故に関しましては弊社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品は一般家庭用です　※この商品は海外ではご使用になれません / FOR USE JAPAN ONLY

本商品は一般家庭に限って開発された商品です。一般家庭での目的用途以外の使用や業務用としての使用はおやめください。誤った使用、目的用途以外の使用は保証の対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

ここに示した注意事項は、危害や損害を未然に防止するための重要な内容ですので、必ずお守りください。

警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があるもの。

注意　誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

図記号説明

一般的な禁止	ぬれ手禁止	分解禁止
必ず行う	電源プラグを抜く	接触禁止

警告

●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。感電・ショート・発煙・発火の原因となります。
●電源プラグのホコリは定期的に取り除いてください。ホコリがたまると火災・感電の原因となります。
●電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用してください。定格を超えると発熱による火災の原因となります。
●製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止してください。異常が発生した状態で使用を続けると、感電・漏電・ショート・発煙・発火・けがなどの原因となります。
●パッキンなどの付属品は必ず取り付けて使用してください。故障・やけど・けがの原因となります。また、傷んだパッキンは使用しないでください。
●ふたは、最後まで確実に閉めてください。やけど・けがの原因となります。

●電源コードを束ねて使用する、無理に曲げる、捻じる、引っ張る、傷を付ける、加工する、重いものを載せる、挟み込む等をしないでください。火災・感電の原因となります。
●本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。感電・ショートの原因となります。
●すき間からピンや針金などの異物を入れないでください。感電・ショートの原因となります。
●多量の油を入れる料理、重曹など、発泡するもの、カレー、シチューなど、とろみや粘りがあるものを調理しないでください。蒸気が吹き出し、やけど・けがの原因となります。
●空焚きしないでください。故障・やけど・けがの原因となります。
●調理中に無理にふたを開けたり移動したりしないでください。蒸気や調理物が噴出し、やけど・けがの原因となります。

●調理以外の用途では使用しないでください。故障・やけど・けがの原因となります。
●子供や補助の必要な人に一人で使わせたり、幼児に触れさせたりしないでください。感電・やけど・けがの原因となります。操作できる人が必ず付き添ってください。
●レトルトパックやポリ袋に入ったままの食材を入れないでください。故障・事故の原因となります。

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜いてください。感電・ショートによる発火の原因となります。
●お手入れをする際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・やけど・けがの原因となります。
●長期間使用しないときは、必ず電源コードを抜いてください。絶縁低下により感電・漏電・火災の原因となります。

●使用中、使用直後しばらくは高温部に触れないでください。やけどの原因となります。特に乳幼児には触れさせないよう十分にご注意ください。

●濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電・けがの原因となります。

●絶対に分解したり、修理・改造したりしないでください。発火・感電・けがの原因となります。不具合の場合は使用を中止し当社カスタマーセンターまでご連絡ください。

⚠ 注意

●電源コードは必ず付属のものを使用してください。故障・発火の原因となります。
●お手入れは完全に冷えてから行ってください。高温部に触れ、やけどの原因となります。
●料理量の最大と最小を必ず守ってください。やけど・けがの原因となります。
●ふたを開ける場合は、圧力表示ピンが下がった後、圧力切換弁を回して蒸気を完全に排出してから開けてください。やけど・けがの原因となります。

●不安定な場所や熱に弱い敷物や床の上では使用しないでください。故障・けが・火災の原因となります。
●壁や家具の近くで使用しないでください。蒸気や熱で、劣化・変色・変形の原因となります。
●水のかかるところや、火気の近くで使用しないでください。感電・ショートの原因となります。
●直射日光の当たる場所で使用しないでください。変色の原因となります。
●ノズルや取っ手にガタつきがある場合は使用しないでください。けがの原因となります。
●ふたの取っ手を持って移動しないでください。落下による故障・けがの原因となります。本体の底を両手で持って移動してください。
●内なべを直火にかけないでください。変形・変色の原因となります。
●内なべを落としたり、変形させたりしないでください。故障の原因となります。
●金属製のへらなどは使用しないでください。内なべで米を研いだり、洗い桶の代わりに使用したりしないでください。内なべの傷や塗装剥がれの原因となります。

使用上のご注意

ご注意

●圧力鍋は加熱されると内部が極めて高温・高圧になります。取り扱いを誤ると、やけどなどの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

設置について

●火気の近く、可燃物の近く、水のかかる場所には設置しないでください。また、棚などで使う場合は、蒸気がこもらないようにしてください。故障の原因となります。

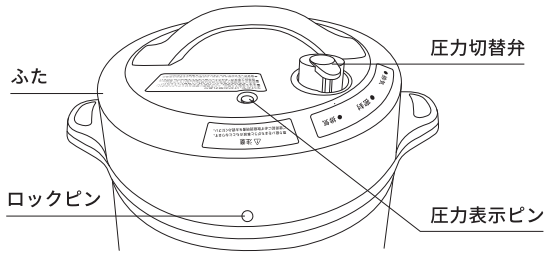
調理前のご注意

●ふたの圧力切替弁が詰まっていないことを確認してから使用してください。やけど・けがの原因となります。
●調理前に、本体にしっかりと付属品が取りつけられていること、本体と内なべの間にガタつきがないことを確認してください。故障の原因となります。
●内なべや本体内部、食品かすなどの異物を付けたまま使用しないでください。故障の原因となります。
→「お手入れ」（19〜20ページ）を参照ください。
●内なべと本体の間に水を入れないでください。故障の原因となります。

調理中 / 調理後のご注意

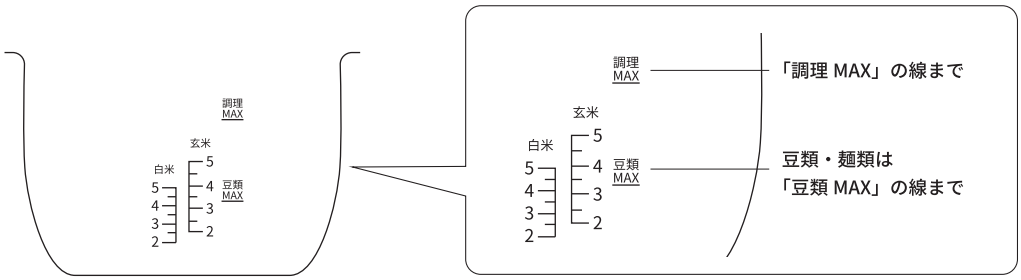
●調理中や調理の直後は、振動などで蒸気が噴き出す恐れがあるため移動させないでください。やけど・けがの原因となります。
●内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。やけど・けがの原因となります。
●調理中、本体にふきんなどをかけたままにしないでください。変色・変形の原因となります。

⚠ 注意



調理中・調理直後は高温になるため、絶対にふたには触らないでください。特に、圧力表示ピン、圧力切替弁やロックピンに触ったり、手や顔を近づけたりしないでください。やけどの原因となります。

●内なべの「調理MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。やけど・けがの原因となります。（下図参照）
●豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。やけど・けがの原因となります。（下図参照）



調理禁止の食材について

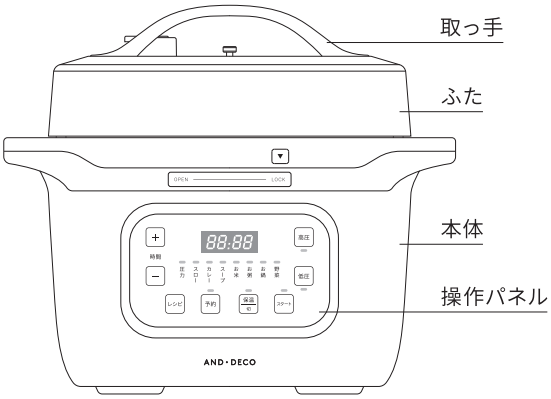
●カレーやシチューのルウ、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて圧力調理しないでください。ノズルが詰まり、故障・やけど・けがの原因となります。
●重曹など発泡するものや、多量の油を入れて調理しないでください。やけど・けがの原因となります。

内なべを長くお使いいただくために　※内なべのコーティングを傷付けないため、以下をお守りください。

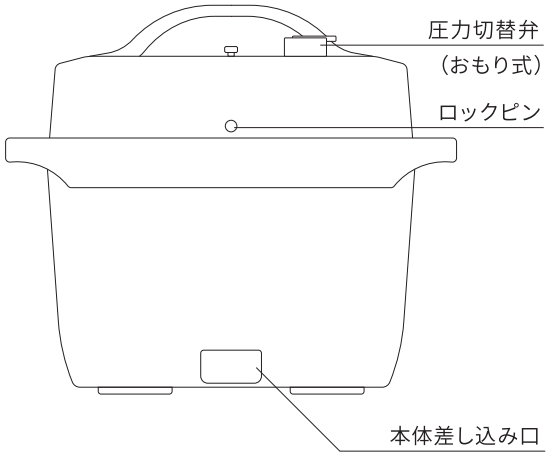
●内なべで米を研いだり、豆などのかたい食材を洗ったりしないでください。
●かたい食材を調理する際は、内なべの内面に食材を押しつけたり、強くかき混ぜたりしないでください。
●金属製のヘラやおたまなどは使用しないでください。

各部の名称

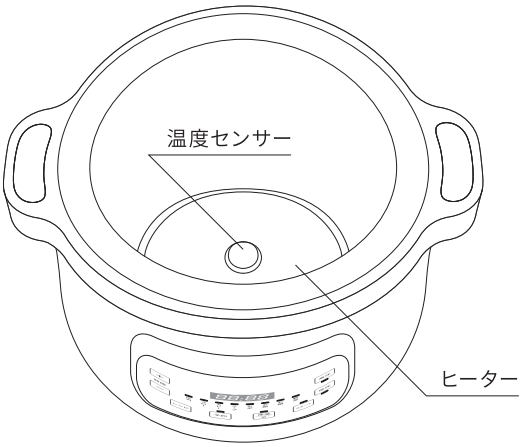
本体正面



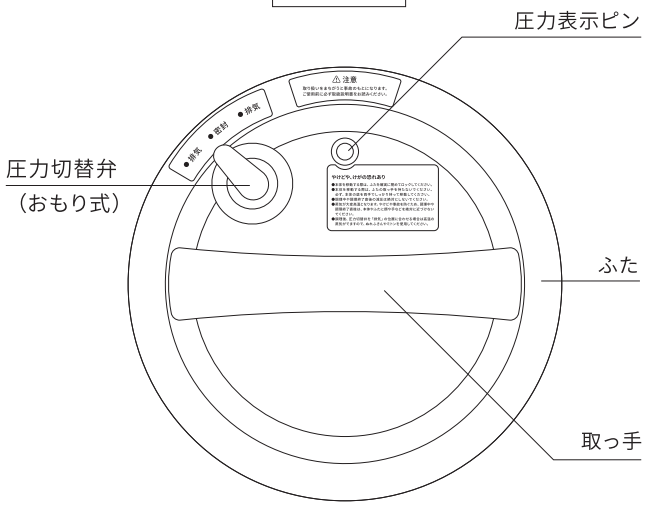
本体背面



内なべを取った状態

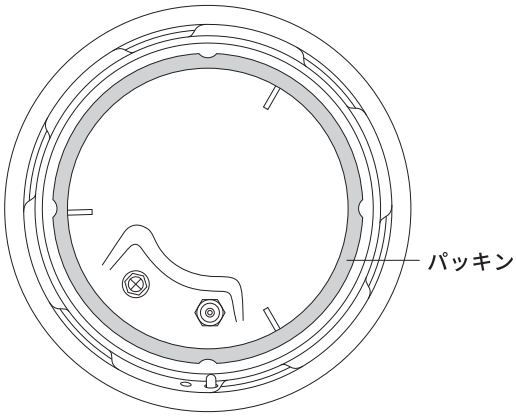


ふた上図



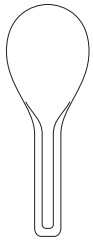
各部の名称

ふた内側



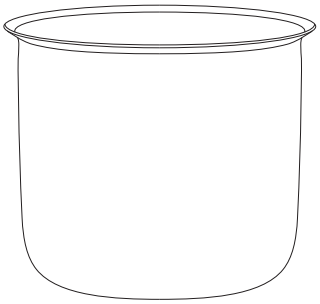
付属品

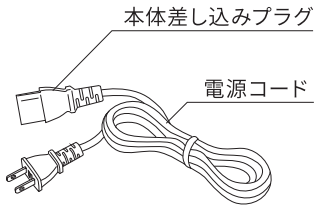
計量カップ



しゃもじ

内なべ





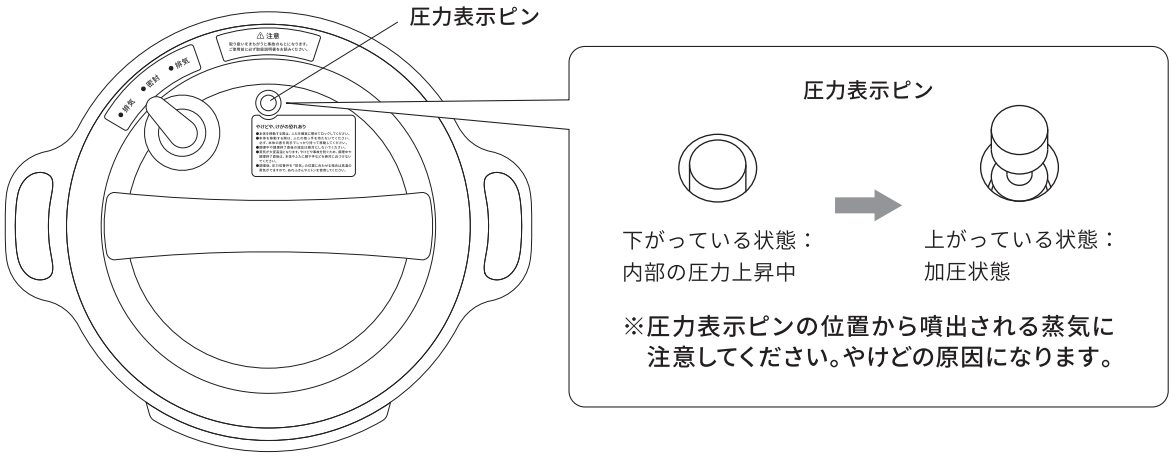
電源プラグ

※開梱の際には、付属の部品が全て揃っていることを、必ずご確認ください。

各部の説明

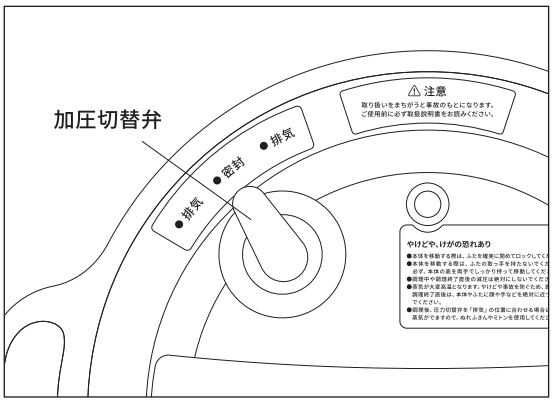
圧力表示ピンについて

圧力調理開始後、内部の圧力が上昇するとピンの位置から蒸気が噴出します。内部の圧力が上昇するにつれてピンが上がり、加圧状態に達するとピンが上がりきって蒸気の噴出も停止します。



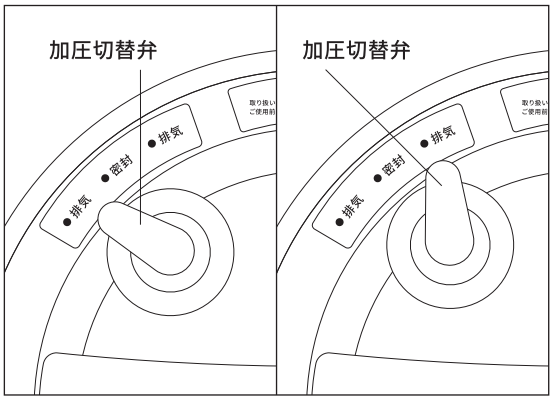
圧力切替弁について

圧力切替弁には「密封」と「排気」の2つの機能があります。
圧力切替弁は、おもり式の調圧弁の役割もあり、なべの圧力が高くなりすぎると蒸気が圧力切替弁を押し上げて、蒸気を逃がす仕組みになっています。



■密封

内部の圧力を一定に保ちます。
圧力調理開始時には、必ず「密封」の位置に合わせてください。

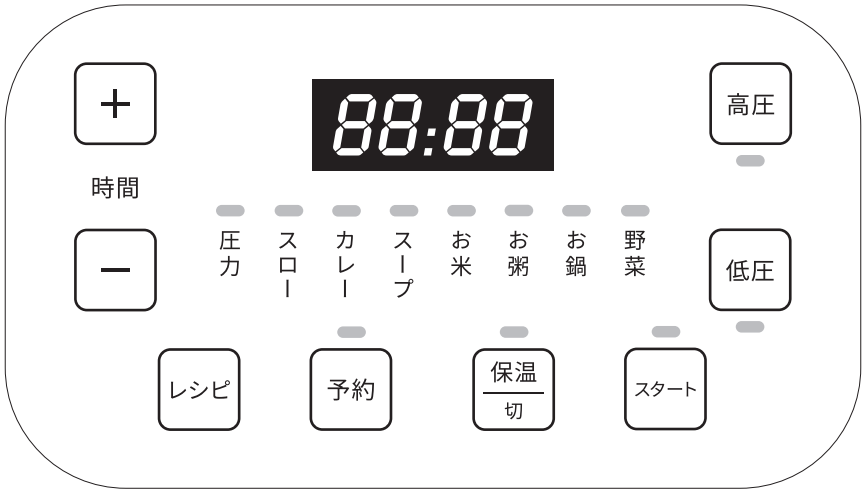


■排気

スロー調理モードで加熱調理をする場合は、圧力切替弁を「排気」の位置に合わせてください。（両端が排気です）

※調理中や調理の直後は、圧力切替弁には触れないでください。やけど・けがの原因となります。
※加熱調理中は、圧力切替弁から排出される蒸気に注意してください。やけどの原因となります。
※圧力調理中や調理の直後は圧力表示ピンが下がるまでは、絶対に圧力切替弁を「排気」にしないでください。高温の蒸気が吹き出し、やけど・けがの原因となります。

操作パネル



名　称	機能説明
スタート	運転をスタートするときに押します。
保温/切	・調理物を再加熱する温め機能で運転するときに押します。 ・操作設定の取り消しや、作動中の機能を中止するときに押します。
予　約	「圧力」、「スロー」、「スープ」、「お米」、「お粥」、「お鍋」お好みの調理モードの予約時に押します。 時間の＋/ーを押して5分刻みで予約を設定できます。予約時間設定範囲は20分〜4時間です。
レシピ	8種の基本メニュー を左から右に選択するときに押します。
時間 ＋/ー	各調理モードの加圧時間や、予約調理の入時間を設定するときに押します。
高　圧	「圧力」、「お米」、「お粥」、「スープ」、「お鍋」のメニューを高圧モードで調理するときに押します。
低　圧	「圧力」、「お米」、「お粥」、「スープ」、「お鍋」のメニューを低圧モードで調理するときに押します。

使用方法

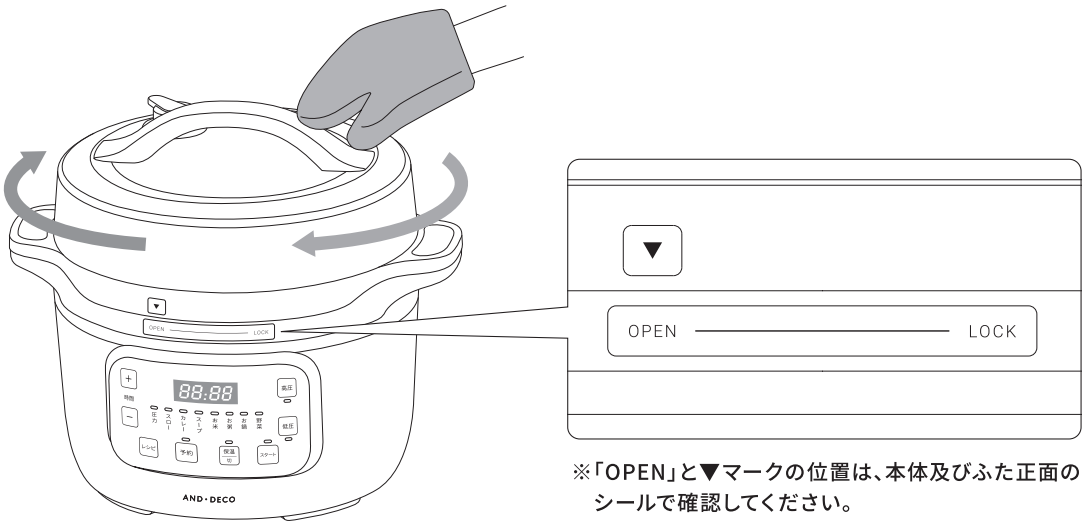
お使いになる前に

本製品を始めてお使いになる場合、またはしばらくお使いになっていなかった場合は、本体内部にホコリやゴミなどが付着している可能性があります。「お手入れ」（19〜20ページ）を参照して各部を洗浄してからお使いください。洗浄後は、よく乾かしてからご使用ください。

1 ｜ ふたを開ける

●ふたの取っ手を持ちながら、時計回りに、ふたの▼マークを本体正面の「OPEN」と合う位置まで回します。

※調理後にふたを開ける場合は、ふたの高温部（ロックピンや圧力切替弁、圧力表示ピン）や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、必ずミトンを使用してください。



※「OPEN」と▼マークの位置は、本体及びふた正面のシールで確認してください。

2 ｜ 材料を内なべに入れる

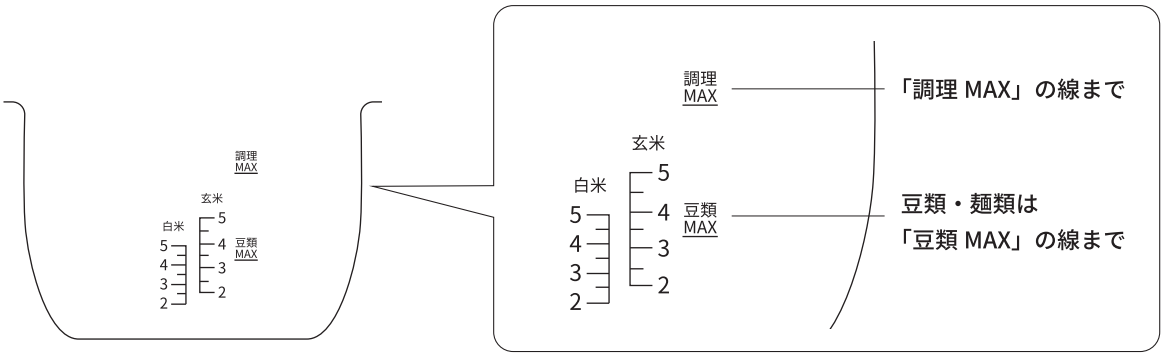
●材料の下準備についての詳細は、QRコードを読み取った先にあるレシピブックをご覧ください。

※内なべのコーティングを傷つけないため、内なべで米を研いだり、豆などの硬い食材を洗ったりしないでください。

※内なべの「調理MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。

※豆類や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。やけど・けがの原因になります。

※カレーやシチューのルウ、ジャムなど、粘りけのあるものを入れて圧力調理しないでください。圧力調理中に、ふたのノズルにルウなどが詰まり、圧力調整ができなくなる可能性があります。カレーやシチューの調理方法については、QRコードを読み取った先にあるレシピブックをご覧ください。

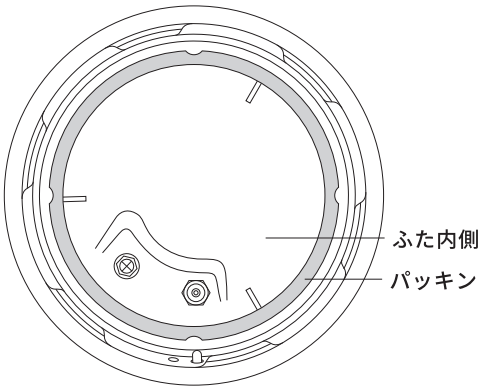


3 ｜ 内なべを本体にセットする

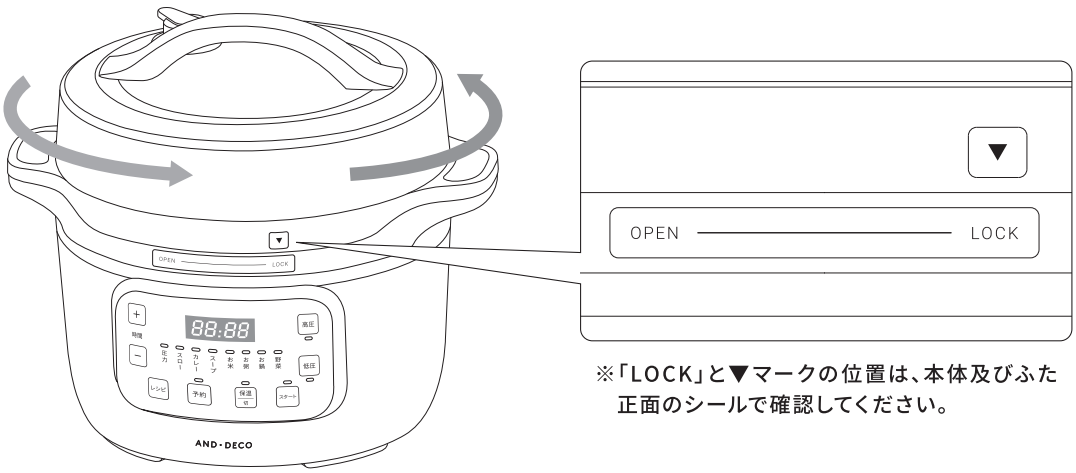
●内なべが傾いていないか、本体と内なべの間に食品のかすなど、異物が挟まっていないか必ず確認してください。
●内なべ外側の水気を拭き取ってからセットしてください。

4 ｜ ふたを閉める

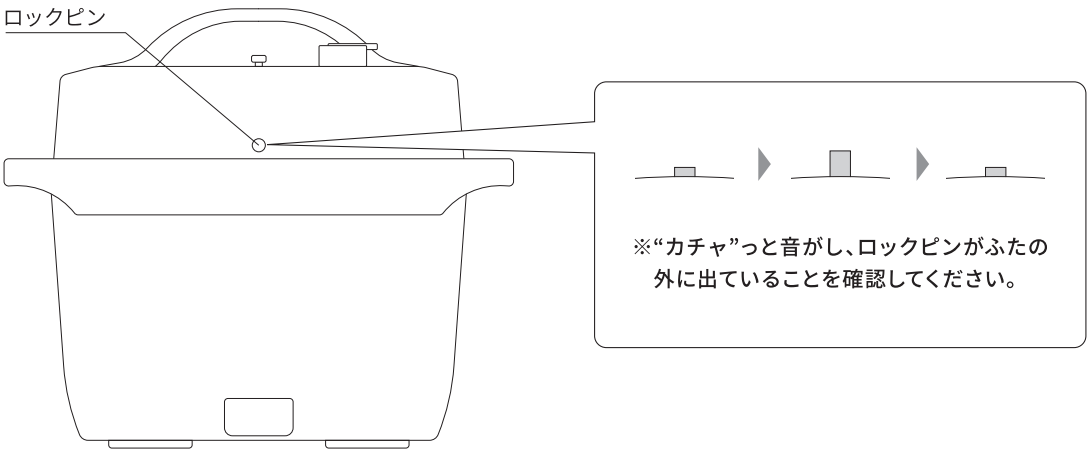
●ふた内側のパッキンが正しく取り付けられていること確認します。本体正面の「OPEN」とふたの▼マークの位置を合わせて、ふたをはめ込んだら反時計回りに本体側面の「LOCK」の位置まで回してください。



※パッキンが正しく取り付けられていないと、ふたが閉まらなかったり、故障の原因になったりします。ふたを閉める前に、ご確認ください。



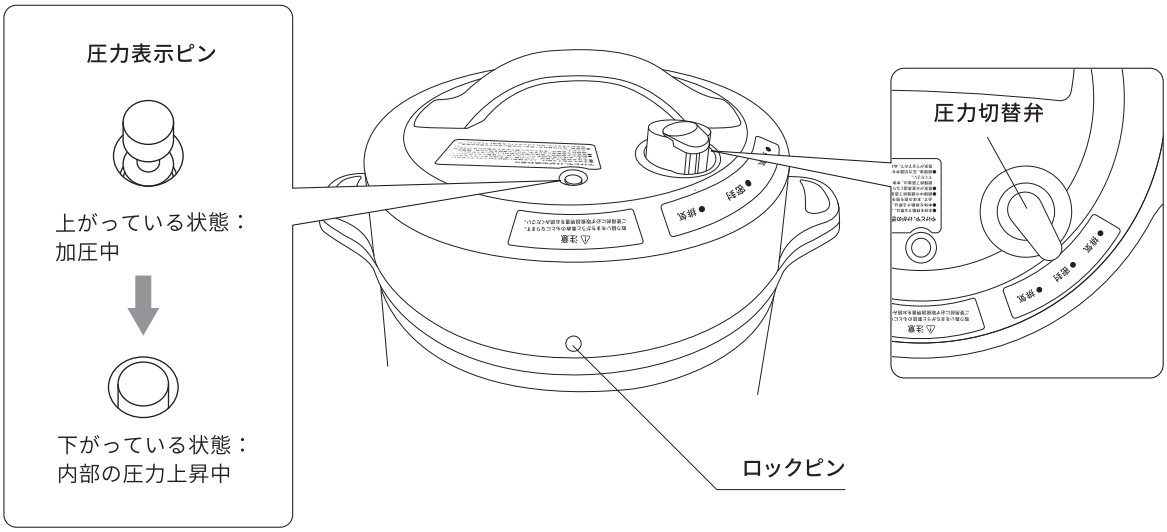
※「LOCK」と▼マークの位置は、本体及びふた正面のシールで確認してください。



※“カチャ”っと音がし、ロックピンがふたの外に出ていることを確認してください。

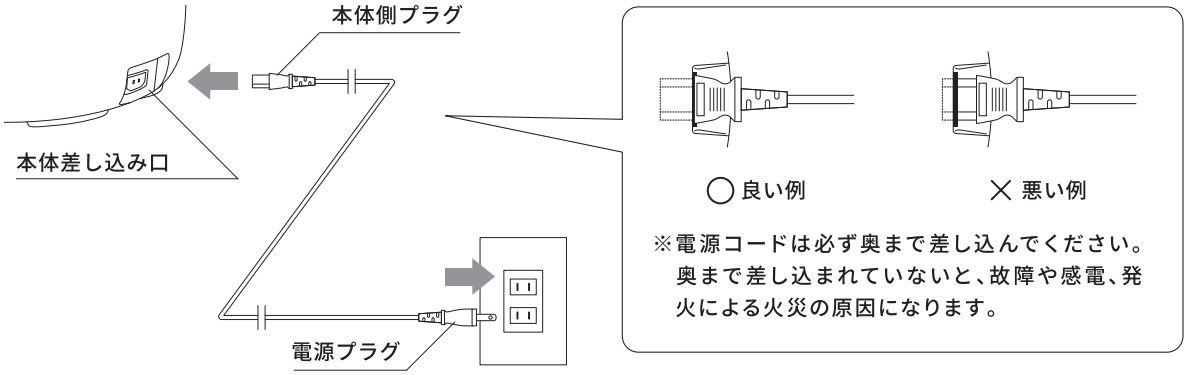
●ふたを閉めたら、圧力切替弁を「密封」の位置にセットし、圧力表示ピンが下がっていることを確認してください。

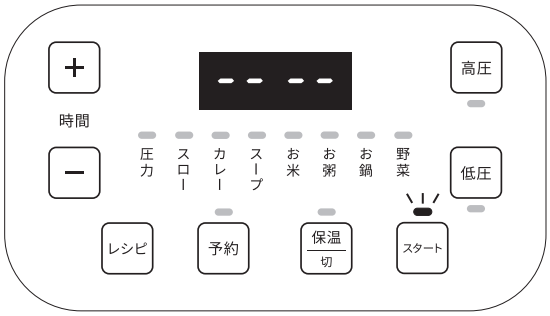
※圧力表示ピンの位置から噴出される蒸気に注意してください。やけどの原因となります。



5｜ 電源コードの本体側プラグを本体差し込み口に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください

※延長コードは使わないでください。発熱による火災・故障の原因になります。
※定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災・故障の原因となります。





【スタンバイモード】

“ ピッ”という音がして、操作パネルのディスプレイに〈ーーーー〉と表示されます。
この時、「スタート」ボタンは赤色で点滅します。

本製品でできること

基本メニューモード

レシピボタンでメニューを選ぶだけで、それぞれのメニューに合わせた加圧時間で調理できます。
レシピボタンを押すたびに、下記のメニューが順に切り替わります。

圧　力 ▶ スロー ▶ カレー ▶ スープ ▶ お　米 ▶ お　粥 ▶ お　鍋 ▶ 野　菜

圧力モード

加圧時間をお好みで設定できます。
設定した圧力調理時間が終わると、圧力が下がります。圧力表示ピンが下がったら出来上がりです。

加　熱
本体内部を一定の圧力に上げるために加熱を行います。

▶

加　圧
設定された時間だけ、圧力調理を行います。

▶

減　圧
圧力を下げていきます。

▶

完　了
圧力表示ピンが完全に下がったら、出来上がりです。

加熱目安時間：3分～20分

減圧目安時間：5分～50分

※「基本メニュー」は、調理後に保温モードに切り替わり、圧力を下げていきます。（お鍋料理モードは除く）
※加熱・減圧（圧力表示ピンが下がるまで）の時間は、材料の種類や量、調理内容によって変化します。

設定時間・保温時間について

本体内部が一定の圧力に達し、維持されている状態を加圧状態といいます。
「基本メニューモード」は設定時間と、調理後保温時間が予め設定されています。

メニュー	設定時間	調理後保温時間
圧　　力	10分	1時間
ス ロ ー	4時間	12時間
カ レ ー	13分	12時間
ス ー プ	10分	6時間
お　　米	12分	1時間
お　　粥	12分	1時間
お鍋（ふたを開けて、鍋として使用）	2時間	—
野　　菜	1分	1時間

高圧/低圧調理モード

■高圧調理モード（設定加圧時間：30分、調理後保温時間：1時間）
高圧調理を行います。高圧調理をすることで、硬い食材でも短時間で軟らかくなったり、味がしみやすくなったります。

■低圧調理モード（設定加圧時間：25分、調理後保温時間：1時間）
低圧調理を行います。煮崩れしやすいなどの食材に加圧が穏やかな低圧で調理します。

各種調理の仕方

本製品の圧力調理は、調理法に合わせて加圧時間が設定されている「基本メニュー」があります。調理例についての詳細はQRコードを読み取った先にあるレシピブックをご覧ください。

「基本メニュー」を使った調理の仕方

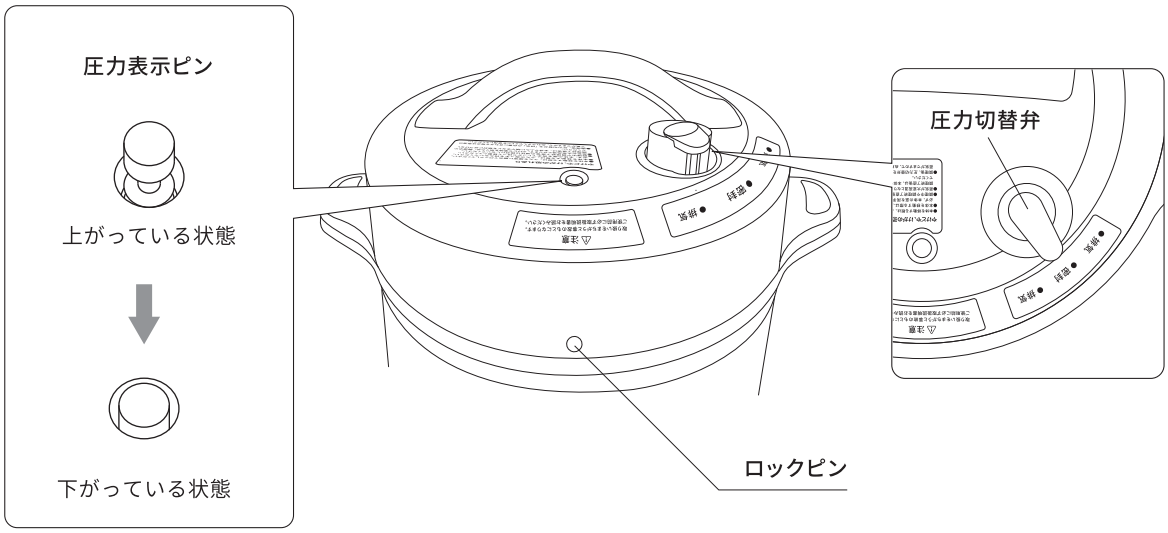
基本メニューのそれぞれの設定できる時間範囲及び高圧 / 低圧調理設定

メニュー	時間設定範囲	調理設定可能パターン
圧　　力	1分～1時間	○高圧/低圧
ス　ロ　ー	2時間～12時間	×加圧不可
カ　レ　ー	13分～30分	×加圧不可
ス　ー　プ	8分～50分	○高圧/低圧
お　　米	8分～30分	○高圧/低圧
お　　粥	12分～30分	○高圧/低圧
お　　鍋	30分～2時間	○高圧/低圧
野　　菜	1分	×加圧不可

1 ｜ 調理の準備をする

●安全のため、調理禁止の食材や、ふたの閉め方など、必ずお守りください。

2 ｜ 材料を入れて、ふたを閉めたら圧力切替弁を「密封」の位置にセットし、圧力表示ピンが下がっていることを確認する



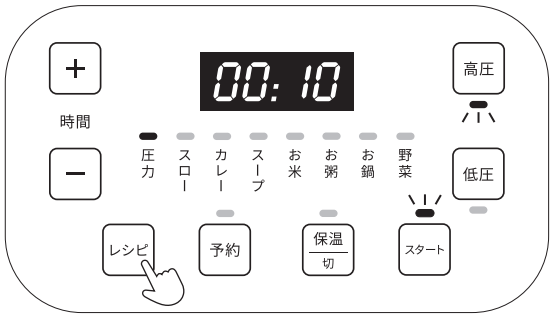
3 ｜「レシピ」ボタンを押してメニューを選択後、スタートボタンを押して調理を開始する（選ばれたメニューは白いランプで点灯し、「高圧/低圧」ボタンは青いライトで点滅します）

①「レシピ」ボタンを押すたびに、メニューが下記の順に切り替わり、選択されているメニューの上のランプが点灯します。

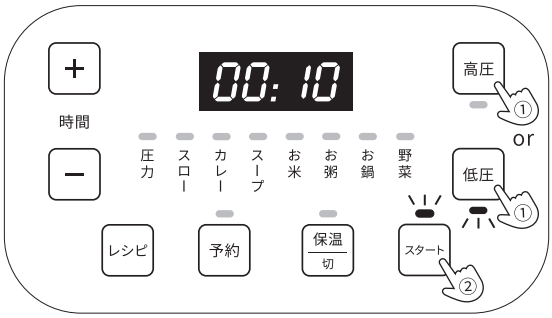
圧　力 ▶ スロー ▶ カレー ▶ スープ ▶ お　米 ▶ お　粥 ▶ お　鍋 ▶ 野　菜

②調理設定可能メニューの場合は、「高圧/低圧」ボタンを選択し、「スタート」ボタンを押してください。
③圧力調理が開始します。
④圧力調理中は、操作パネルの画面に残り時間が表示されます。

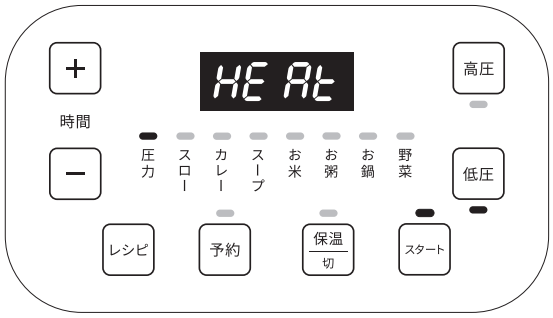
※約30秒なにも操作しないと、選択したメニューが取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は、再度「レシピ」ボタンを押して、操作をやり直してください。



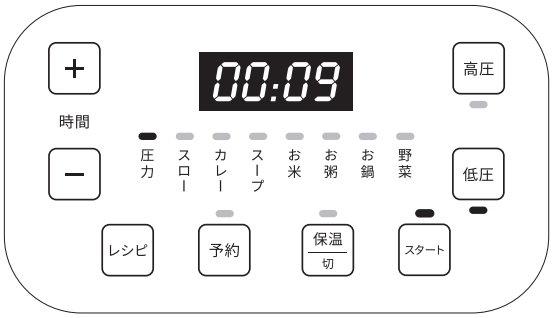
①「レシピ」ボタン押すたびに、メニューが順に切り替わります。この時、「スタート」と「高圧」ボタンは点滅しています。（加熱時間の表示は変化しません）



②「高圧/低圧」を選択し、「スタート」ボタンを押してください。この時、「高圧/低圧」ボタンは青色に点滅し、「スタート」ボタンは赤色に点滅します。



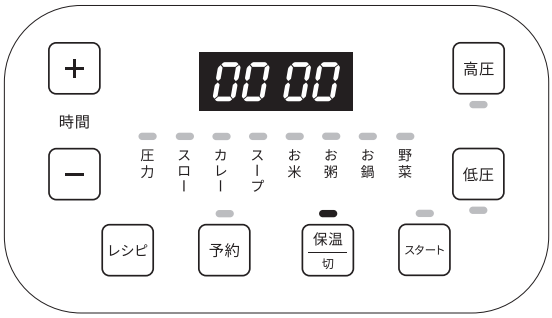
③ディスプレイに「HEAT」と表示され、調理を開始します。



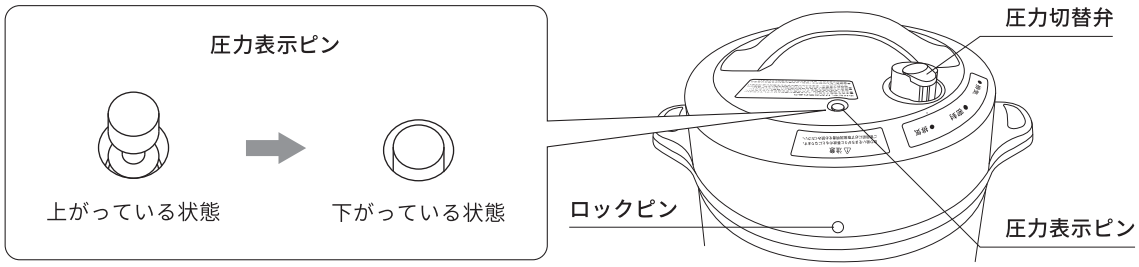
④圧力調理中は調理時間がカウントダウンされ、残り時間が表示されます。

4 ｜ 調理終了音のブザーが鳴り保温に切り替わったら、圧力表示ピンが下がるまで待ちます

●圧力調理が終了すると、ブザーが鳴り「保温」ボタンのランプがオレンジ色に点灯し自動的に保温に切り替わります。



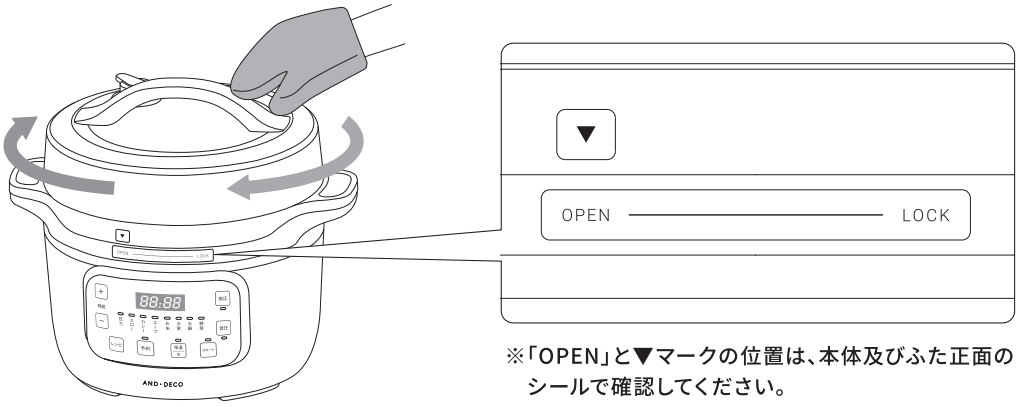
※調理後も内部の圧力は残っています。圧力表示ピンが下がるのを待ってから、ふたを開けてください。
※調理中や調理の直後は、圧力切替弁やロックピンには触れないでください。
※高温の蒸気が吹き出し、やけど・けがの原因となります。
※圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5 ～ 50分です。（調理内容によって、減圧時間は異なります。）



5 ｜ 圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開けます

●必ずミトンを着用してから、時計回りにふたの▼マークを本体正面の「OPEN」と合う位置まで回します。

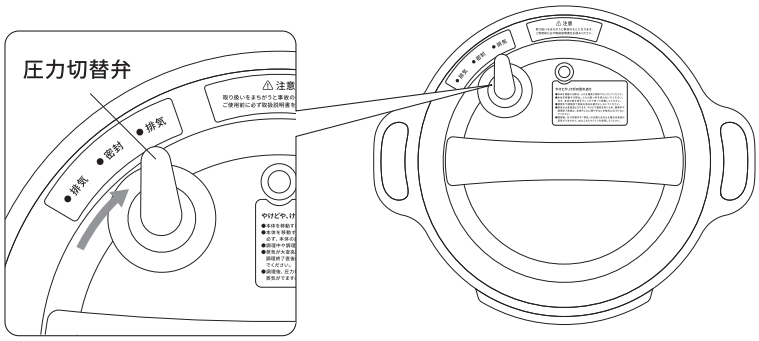
※ふたの高温部（ロックピン、圧力切替弁、圧力表示ピン）や、調理物から出てくる蒸気に素手で触れないように、ミトンを使用してください。
※ふたを開ける際は、少し回して、ふたのすき間から蒸気が出てこないことを確認してください。
※ふたを開ける際、重く感じたら内部の圧力が下がっていない可能性があります。少し時間を置いてから開けてください。
※内部の圧力が残っている状態で、絶対にふたを無理に開けないでください。少しでも圧力が残っていると、ふたが飛んだり、高温の蒸気や調理物が噴出したりして、やけど・けがの原因となります。



※「OPEN」と▼マークの位置は、本体及びふた正面のシールで確認してください。

ふたを開けるときに内なべがくっついて離れないときは

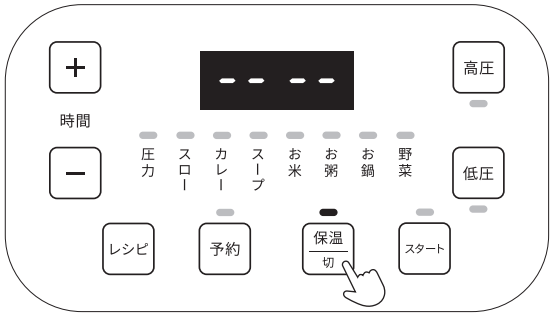
ふたを開けたときに内なべがふたにくっついてくる場合は、ふたを本体に戻し圧力切替弁を「排気」に切り替えてから、再度ふたを開けてください。



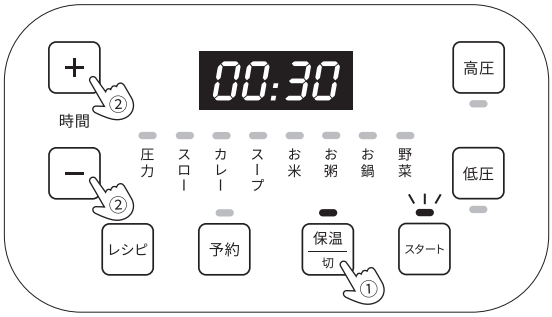
保温機能について

●圧力調理が終了すると自動的に保温に切り替わります。
●保温時間は、メニューごとに設定時間が異なります。各メニューの保温時間については、12ページの「設定時間・保温時間について」をご参照ください。
●保温中は、保温開始からの経過時間がディスプレイに表示されます。
●保温を終了したいときは、「保温/切」ボタンを押してください。
●保温時間は30分間で予め設定されています。
●保温時間調整可能範囲は30分間~12時間までできます。

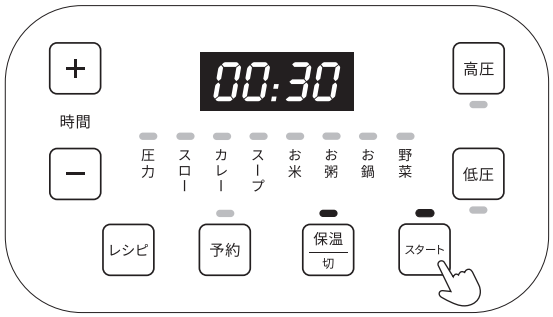
例：保温開始から5分経過した場合



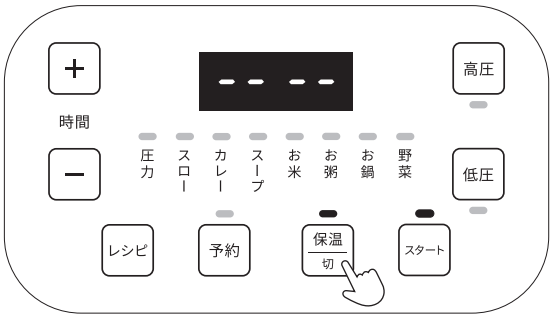
①保温中、「保温/切」ボタンのランプはオレンジ色で点灯します。「保温/切」ボタンを押すと、保温モードが終了しスタンバイドモードに戻ります。



②再度、保温を開始したい場合は、「保温/切」ボタンを押して保温時間を「＋/－」ボタンで設定してください。この時、「保温/切」ボタンのランプはオレンジ色に点灯し、「スタート」ボタンは赤色に点滅します。



③保温時間を設定したら「スタート」ボタンを押してください。保温モードを開始します。



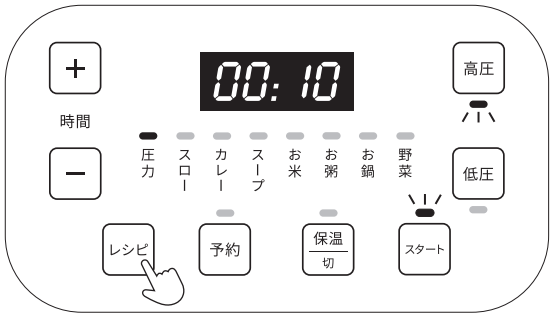
④保温を終了したい時は、「保温/切」ボタンを押すと、スタンバイモードに戻ります。

予約調理について

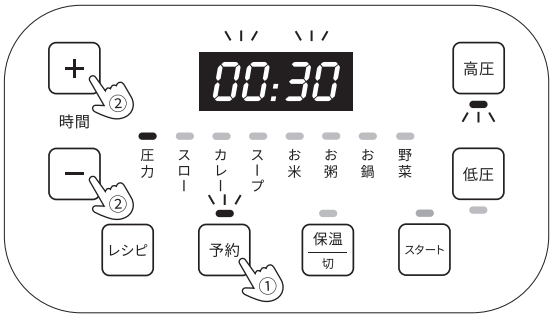
●予約した時間になると自動的に運転が開始する「予約」を設定できます。
●予約時間は30分で予め設定されています。
●予約機能は基本メニュー（圧力、スロー、スープ、お米、お粥、お鍋）以外の調理には使えません。

1 ｜ 「レシピ」ボタンを押してメニューを選択後、「予約」ボタンを押して予約（運転開始までの時間）を設定します

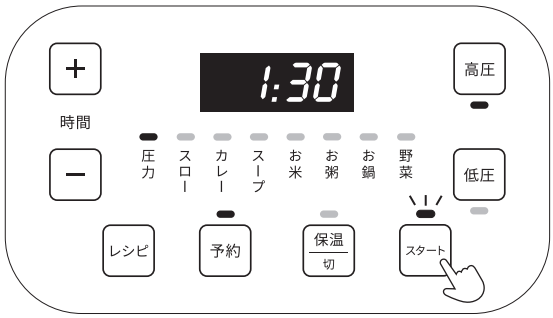
①「レシピ」ボタンを押して、予約できるメニューを選択してください。この時メニューのランプが点灯します。調理設定可能メニューの場合は、高圧ボタン/低圧ボタンを選択してください。
②「＋/－」ボタンを押して、予約時間（運転を開始するまでの時間）を設定し、「予約」ボタンを押してください。
※予約時間は「＋/－」ボタンを押すごとに、5分単位で設定でき、最大４時間後までの設定が可能です。
③「スタート」ボタンを押すと調理時間の表示が点滅から点灯に変わり、予約の設定は完了です。設定された予約時間になると予約調理を開始します。



①「レシピ」ボタンを押して、メニューを選んでください。その後、「高圧/低圧」ボタンを押して選択します。この時、「スタート」ボタンは赤色に、「高圧/低圧」ボタンは青色に点滅します。



②「予約」ボタンを押します。「＋/－」ボタンで予約時間を設定してください。この時、「予約」ボタンは緑色に点滅します。

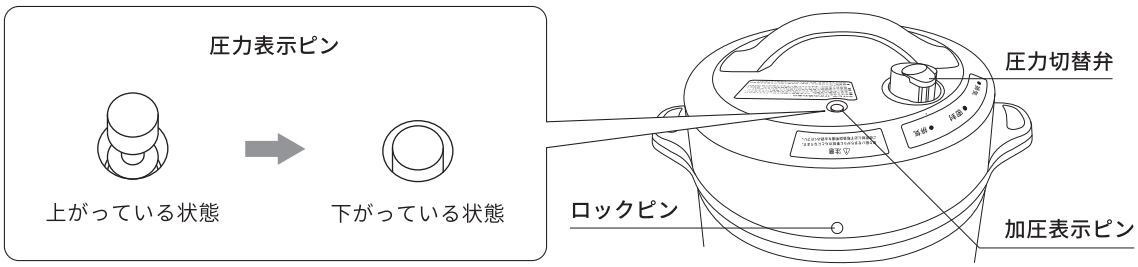


③「スタート」ボタンを押して予約調理の設定は完了です。予約調理運転中、「予約」ボタンのランプは緑色に点灯し、「スタート」ボタンのランプは赤色に点滅します。

※約30秒なにも操作しないと、設定内容が取り消されてスタンバイモードに戻ります。その場合は、はじめから操作をやり直してください。

2 ｜ 調理終了音のブザーが鳴り保温に切り替わったら、圧力表示ピンが下がるまで待ちます

●圧力調理が終了すると、ブザーが鳴り保温ボタンのランプが点灯し自動的に保温に切り替わります。



※調理後も内部の圧力は残っています。圧力表示ピンが下がるのを待ってから、ふたを開けてください。
※調理中や調理の直後は、圧力切替弁やロックピンには触れないでください。
※高温の蒸気が吹き出し、やけど・けがの原因になります。
※圧力表示ピンが下がるまでの時間の目安は、5 ～ 50分です。(調理内容によって、減圧時間は異なります)

3 ｜ 圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開ける

※ふたの開けかたや注意事項は、15ページの内容を参照してください。

4 ｜「保温/切」ボタンを押して保温を終了する

やむを得ずふたを開けたい時

●圧力表示ピンが自然に下がるのを待てない場合は、以下の方法で蒸気を抜いて減圧してください。

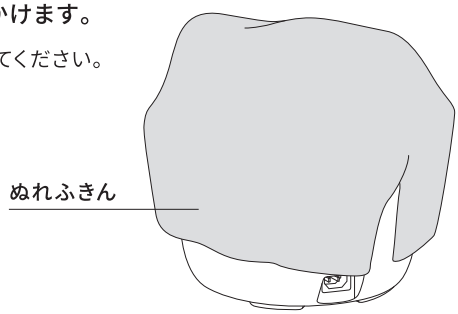
※調理中や調理終了直後（5分以内）の減圧は絶対にしないでください。
※蒸気は高温のため、取り扱いには充分注意してください。
※周囲に人やペットがいないことを必ず確認してください。

1 ｜ 圧力調理が終了した後、調理終了音のブザーが鳴り、「保温/切」ボタンを押して5分以上待ちます。

2 ｜ 圧力切替弁を含むふたの上に、ぬれふきんを厚めにかけます。

●勢いよく蒸気が出て危険なので、必ず厚めのぬれふきんを使用してください。
●ふた全体をおおうように、ぬれふきんをかけてください。

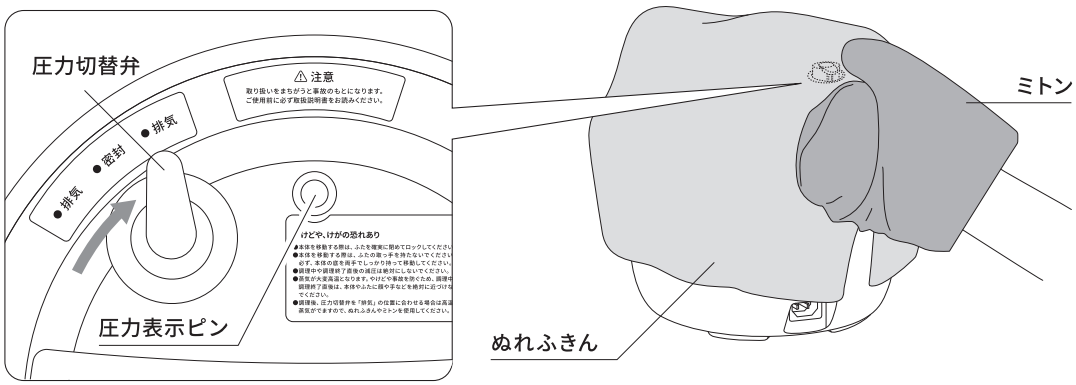
※調理したものが、ぬれふきんに付く恐れがあります。



3 ｜ ミトンをはめて、ぬれふきんの上から、圧力切替弁を「排気」の位置にゆっくり動かします。

●圧力切替弁のつまみの部分を、ミトンの先で押して動かします。
●圧力切替弁の真上から蒸気が吹き出すため、必ずつまみの部分を押してください。圧力切替弁の真上には触れないでください。
●圧力切替弁から蒸気が出はじめたら、すぐに手をはなしてください。排出される蒸気に注意してください。
●お粥など水分が多い料理の場合、調理したものが圧力表示ピンや圧力切替弁から噴出する場合があります。

※高温の蒸気が出てきますので、ぬれふきんとミトンを必ず使用してください。



4 ｜ 蒸気が出なくなったらぬれふきんを取り、圧力表示ピンが下がっていることを確認してからふたを開けます。

●ふたや圧力切替弁、ぬれふきんが熱くなっているため、やけどに注意してください。

※調理物が熱くなっていますので、ふたを開ける際はやけどに注意してください。

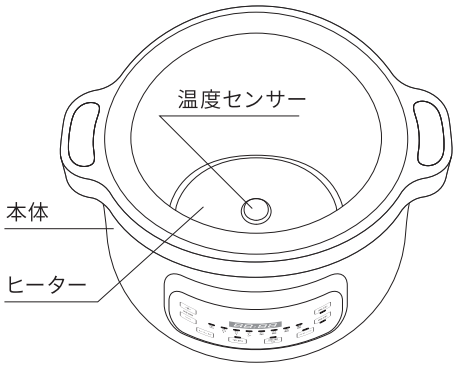
ご注意

●内なべ、パッキンなどに食品かすなどの異物を付けたままにしたり、圧力切替弁や圧力表示ピン、ノズルに異物が詰まっていると、故障・やけど・けがの原因となります。使用後はしっかりとお手入れをしてください。
●お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて本体を冷まし、各パーツを取り外してから行ってください。調理後は、たまった水分がふた内側から出てくる場合がありますのでご注意ください。
●本体を丸洗いしたり、水にひたしたりしないでください。また、本体や操作パネルに水をかけたりしないでください。感電・ショート・火災・故障の原因になります。
●シンナー・ベンジン・研磨剤入り洗剤・みがき粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面に傷が付く原因となります。
●食器洗い機や食器乾燥機は使用しないでください。部品が変形し故障の原因となります。

お手入れ方法

■本体/ヒーター/温度センサー

やわらかいふきんで拭きます。汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに台所用中性洗剤を含ませて拭き取ってください。



■内なべ

中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、水で流します。スポンジはやわらかいものを使用してください。

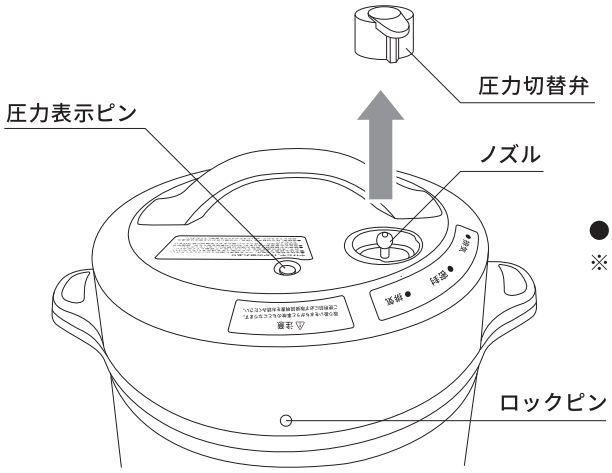
■圧力切替弁

ふたから取りはずし、中性洗剤を含ませたスポンジでよく洗い、水で流します。

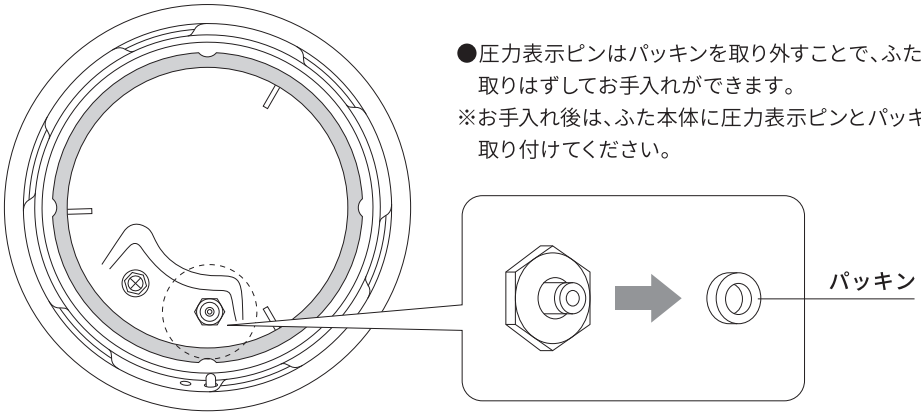
■圧力表示ピン/ノズル

水を流し、食品かすなどの異物が詰まっていないか確認してください。異物がある場合は、つまようじなどで除去してください。

※ふたの内側に水をためて、圧力表示ピンとノズルから水が出てくることを確認してください。圧力表示ピンは、ふたの内側からつまんで上下に動かし、水が出てくることを確認してください。



●圧力切替弁をふたから引き抜くとノズルが見えます。
※引き抜きにくい時は、ふたを押さえながら圧力切替弁を引き抜いてください。



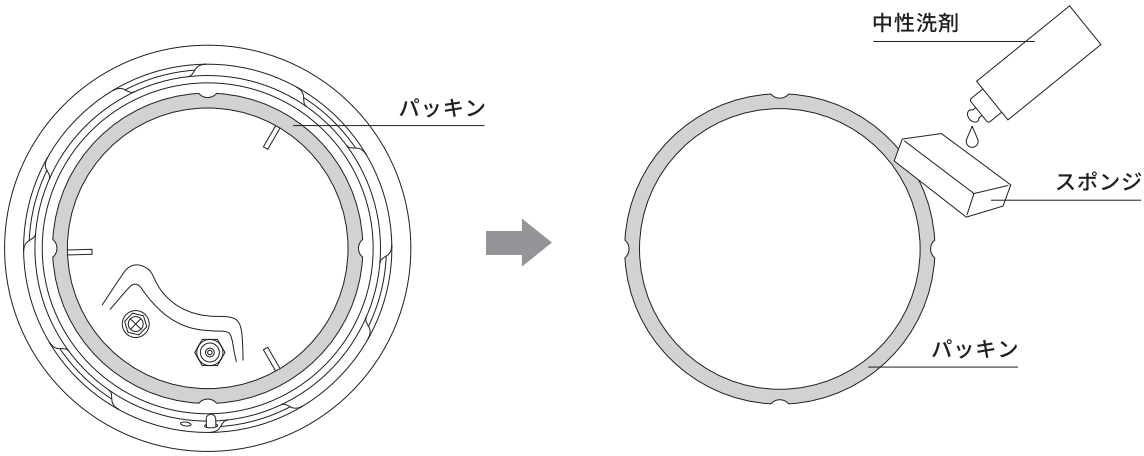
●圧力表示ピンはパッキンを取り外すことで、ふた本体から取りはずしてお手入れができます。
※お手入れ後は、ふた本体に圧力表示ピンとパッキンを必ず取り付けてください。

■ふた本体

中性洗剤を含ませたスポンジで全体を洗い、水で流します。パッキンをふた内側から取り外して、ふた本体の内側も洗うことができます。

■パッキン

パッキンをふたから取り外し、中性洗剤を含ませたスポンジで洗い、水で流します。



パッキンのにおいが気になる場合のお手入れ

①たっぷりの水をなべに入れて沸かします。
②重曹（小さじ1）、酢（小さじ1）を溶かしたらパッキンを入れて、20分ほど煮沸してください。

※パッキン、圧力切替弁などの部品は、お手入れ後の紛失や取り付け忘れを防ぐため、乾いたらすぐに、ふたに取り付けておくことをおすすめします。

長期間使用しない場合

各部のお手入れ後よく乾かしてから、お買い上げ時のパッケージに入れるか、梱包用ポリ袋に包むなどして、湿気のない場所に保管してください。

※部品や付属品の紛失にご注意ください。
紛失を防ぐため、部品は本体やふたに取りつけた状態で保管することをおすすめします。

故障かなと思ったら

使用中に異常だと感じた時は下記の点をご確認ください。それでも改善しない場合はすぐに使用を中止し、カスタマーセンター（ナビダイヤル：0570-039-777）までご連絡ください。

症　状	ご確認いただくところ
煮えていない 煮えすぎ 水っぽい	●水量、設定時間を間違えていませんか。 ⇒QRコードを読み取った先にあるレシピブックを参照し、正しい水量、設定時間で調理してください。 ●本体内部のヒーター、または内なべの外側に食品かすなど、異物が付着していませんか。 ⇒異物を取り除いてください ●調味料が溶けずに残っていませんか。 ⇒調味料は、予め混ぜ合わてください。 ●材料が大きすぎませんか。 ⇒圧力調理モードで加圧時間を調整して、材料が煮えるまで圧力調理してください。 ●ふたは確実に閉まっていますか。 ⇒ふたを確実に閉めてください。
焦げる	●圧力切替弁が「密封」の位置にセットされていますか。 ⇒圧力調理の際は、圧力切替弁を「密封」にセットしてください。「排気」にセットしていると、蒸気が出続けて水分がなくなります。
ふたのすき間や 圧力切替弁から 蒸気や汁がもれる	●パッキンが正しく取り付けられていますか。 ⇒パッキンを正しく取り付けてください。 ●ふたやパッキン、圧力切替弁に食品かすなどの異物が付着していませんか。 ⇒異物を取り除いてください。 ●本体・内なべ・ふたにへこみや傷、パッキンや圧力切替弁に傷はありませんか。 ⇒「保温/切」ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、当社カスタマーセンターまでご連絡ください。
時間表示が変化しない	●「基本メニュー」や「圧力調理モード」で、圧力調理をしていませんか。 ⇒加圧状態に達するまでは、時間表示が変化しません。 ●「温めモード」や「スロー調理モード」で、調理をしていませんか。 ⇒加熱中は、時間表示が変化しません。
ふたを閉めた後や 圧力調理中、ふたと本体の 間にすき間ができる	●ふたの開け閉めの際に、ふたと本体が接触しないよう、すき間ができる設計になっています。ふたと本体のすき間から、蒸気のもれや噴出が起こっていなければ異常ではありません。
圧力切替弁がグラグラする	●ふたに圧力切替弁を取り付けて、ある程度グラグラしていても問題ありません。圧力切替弁は、おもり式の調圧弁の役割もあり、鍋の圧力が高くなりすぎると蒸気が圧力切替弁を押し上げて、蒸気を逃がす仕組みになっています。
ふたが閉まらない	●本体内部、内なべの外側、パッキン、枠などに食品かすなど、異物が付着していませんか。 ⇒異物を取り除いてください。

症　状	ご確認いただくところ
ふたのすき間や 圧力切替弁、圧力表示ピン から蒸気が噴出する	●内なべ、パッキンを取りつけましたか。 ⇒正しく取り付けてください。 ●ふたは確実に閉まっていますか。 ⇒ふたを確実に閉めてください。 ●材料の量または水量が多すぎませんか。 ⇒内なべの「調理MAX」の線以上に、水や食材を入れて使わないでください。豆腐や麺類など調理によって分量が増えるものは、内なべの「豆類MAX」の線以上に、水や食材を入れないでください。 ●圧力表示ピンのパッキンが正しく取り付けられていますか。 ⇒パッキンを正しく取り付けてください。 ●圧力切替弁を外していませんか。 ⇒大変危険なので、使用中に、絶対に圧力切替弁を外さないでください。 ●食材や容器などがふたの内側にあたってませんか。 ⇒食材や容器などを内なべの「調理MAX」の線以上に入れないようにしてください。 ●調理を開始し内部の圧力が上昇するとピンの位置から蒸気が噴出します。内部の圧力が上昇するにつれてピンが上がり、加圧状態に達するとピンが上がりきって蒸気の噴出も停止します。
ふたのすき間や 圧力切替弁から蒸気が強く 噴出し続ける（5分以上）	●ふたを正しく組み立ててセットしていますか。圧力調理中、圧力切替弁を「密封」の位置にしていますか。 ⇒吹き出す蒸気に注意して、「保温/切」ボタンを押し、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止してください。冷めたら圧力切替弁・ふたを正しくセットしてください。正しくセットしても直らない場合は、当社カスタマーセンターまでご連絡ください
使用中に停電した場合	●復電した後は、運転を中止した状態（スタンバイモード）になります。圧力調理中に停電した場合、圧力表示ピンが上がっている間は、ふたを無理に開けたり、本体を移動させたりしないでください。蒸気や調理物が噴出し、やけど・けがの原因になります。
エラーコード表示	●E1：内部温度センサー開路 ●E2：内部温度センサー短絡 ●E3：圧力調理可能なメニューが加圧できない ●E4：圧力調理不可能なメニューに加圧された ●E5：空焚き防止機能動作 ●E6：低圧圧力スイッチ故障 ●E7：高圧圧力スイッチ故障 ⇒上記のエラーコードが表示された場合は、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止して、当社カスタマーセンターまでご連絡ください。

※ふたを開けて中身を確認したり、調理をやり直したりする場合は、「保温/切」ボタンを押して調理を中止し電源プラグを抜いてください。圧力表示ピンが下がっていることを確認してから、ふたを開けてください。

製品仕様

品名	電気圧力鍋 4.0L
品番	ylp01
定格電圧	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	800W
製品質量（約）	4.1kg
外形寸法（約）	幅329mm×奥行き266mm（操作部含まず）×高さ281mm
コード長さ（約）	1.2m
調理容量（約）	2.6L
満水容量（約）	4.0L
使用最高圧力	70k Paゲージ圧
温度ヒューズ	157℃
安全装置	温度過昇防止装置
付属品	計量カップ、電源コード、しゃもじ
製造国	中国

PSCマーク取得

PSCマーク

「消費生活用製品安全法」の家庭用の圧力なべ及び圧力がまの安全基準に適合していることを示します。

保 証 書

品　名	電気圧力鍋 4.0L	品　番	ylp01	お買い上げ日	
保証期間	お買い上げ日より 1年間（消耗品及び付属品は除く）				
販売店	（住所・店名）				

お名前		お電話番号	
ご住所			

無償交換規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償交換いたします。
2. 保証期間内に故障し、無償交換を受ける場合には、お買い上げの販売店にレシート等の購買の証明となるものと本書を併せてご提示ください。
3. 保証期間中でも、次の場合は保証の対象外となります。
   （イ）使用上の誤りや、不当な改造や修理による故障、損傷。
   （ロ）お買い上げ後の取扱過誤、落下及び輸送上の故障、損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地災、公害や異常電圧による故障、損傷。
   （ニ）接続する他の機器の異常によって生じた故障、損傷。
   （ホ）一般家庭用以外（業務使用、車両や船舶への搭載）で使用した場合の故障、損傷。
   （ヘ）樹脂表面（フッ素樹脂加工も含む）及びメッキの摩耗や打痕による損傷。
   （ト）本書のご提示無き場合。
   （チ）本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   （リ）転売品及び中古品（オークション購入等を含む）。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
5. 本書の再発行はいたしません。大切に保管していつでも取り出せるようにしてください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償交換をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過等についてご不明の場合は取扱説明書に記載の当社カスタマーセンターまでお問い合わせください。

電気圧力鍋はこまめに点検してください

このような症状はありませんか？
□ 製品の動作中に異常な音がする　□ 本体が異常に熱くなる・焦げ臭いにおいがする
□ その他の顕著な異常、故障、動作不良など

上記の異常が見受けられた場合は、故障や事故防止のため速やかに使用を中止し
当社カスタマーセンターにお問い合わせください。

販売元：モダンデコ株式会社　0570-039-777

広島県広島市中区富士見町16-22 ロアール富士見町101　FAX 082-236-1298　営業時間 10：00～18：00

保証書

型番	電気圧力鍋 4.5L	年　月　日	
お名前			様
郵便番号			
ご住所			
電話番号		お買い上げ店	

取扱説明書

電気圧力鍋 4.5L

KOIZUMI KDC-4511

もくじ

安全上のご注意	1～3
使用上のご注意	4～5
各部のなまえ	6～7
使用する前に	8～9
使用する前の準備	10～11
基本の使い方	12～15
便利な機能	16～18
調理のヒント	19～20
保守とお手入れ	21～22
困ったときは	23～24
仕様	25
保証書	26

お問合せ先
コイズミ生活サービス株式会社
〒375-0024 群馬県藤岡市中栗須 1-1-1
TEL：0570-026-777

電気圧力鍋 4.5L 取扱説明書 KDC-4511
2026年2月1日 初版発行

©2026 KOIZUMI

安全上のご注意

ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全上の注意

警告

注意

使用上のご注意

各部のなまえ

使用する前に

使用する前の準備

基本の使い方

便利な機能

調理のヒント

保守とお手入れ

困ったときは

仕様

保証書